



写真展

# 田染荘のトンボ

-トンボの眼 さくらの眼-

別府大学  
創立70周年記念  
重要文化的景観  
選定10周年記念  
田染荘

入場無料  
駐車場有

2020年8月27日(木)～10月3日(土)

会場 別府大学 佐藤義詮記念館ギャラリーホール

開館時間 9時～17時(土曜～13時、日曜・祝日休館)

新型コロナウイルスの感染状況により、日時を変更する(延期)場合は、別府大学ホームページでお知らせします。  
来館の際はマスク着用と手の消毒をお願いします

10月下旬から  
豊後高田市役所高田庁舎  
(1階)で展示予定

[主催] 別府大学 URL <http://www.beppu-u.ac.jp/>

[後援] 豊後高田市教育委員会

[問合せ] 別府大学歴史文化総合研究センター Tel 0977-27-6116 〒874-0915 大分県別府市桜ヶ丘5組2

## 田染荘 -心の原風景-

大分県豊後高田市にある田染荘は、2010年8月5日、国の重要文化的景観に選定されました。それは、中世の荘園風景を残し「景観の国宝」と呼ばれる田染荘がその文化財的価値を世に知らしめた瞬間でした。選定の過程で注目されたのは、美しい農村景観と人々の生活、そして生き物との共存、すなわち生物多様性です。2013年には世界農業遺産に認定されました。2016年には小崎地区の里山が重要文化的景観に追加選定されました。2020年3月には大分県の「おおいたの重要な自然共生地域（愛称：未来につなごう！多様な生きものをはぐくむ場）」に里地・里山の分類で選定され、その説明文には「50種類以上のトンボが確認される」とあります。

佐藤さくら氏は 2008年に田染荘を知り、翌 2009年から今日までトンボの調査を趣味として行ってきました。当年 2020年は、田染荘が重要文化的景観に選定されて10周年にあたります。また別府大学創立 70周年記念ともなる年でもあります。更に別府大学と豊後高田市との「協力協定」の調印式から10周年になります。これらの節目に田染荘のトンボを紹介できることは、大変幸運なことと存じます。この展示が皆様にトンボを通して自然や生物多様性について考えていただくきっかけとなれば幸いです。

農村景観とトンボのいる風景は、後世に伝えたい心の原風景です。是非トンボとともに美しい里山の農村景観「田染荘」のことを考えてみてください。

### 田染荘のあゆみ

2001～2007年	田園空間博物館整備事業実施
2007～2009年	文化的景観保存調査実施
2010年1月	田染荘小崎文化的景観保存計画策定
2010年8月5日	田染荘小崎の農村景観 重要文化的景観に選定
2013年5月30日	世界農業遺産に認定（クヌギとため池がつなぐ国東半島と宇佐の農村水産循環）
2016年10月3日	重要文化的景観の追加選定
2020年3月11日	おおいたの重要な自然共生地域（未来につなごう！多様な生きものをはぐくむ場）に選定



### 佐藤さくら・PROFILE

Sato Sakura

1973年9月生まれ。

1996年別府大学文学部史学科卒業。2000年別府大学大学院文学研究科歴史学専攻前期博士課程修了。2006年別府大学大学院文学研究科歴史学専攻後期博士課程単位取得退学。

日本自然保護協会会員。

現：別府大学歴史文化総合研究センター 非常勤事務員

